

平成 20 年度

《第 2 回》

国語

時間 50 分、100 点満点

受験上の注意

1. 解答用紙には、受験番号・氏名を記入してください。
2. 解答は、解答用紙の所定のところに記入してください。記入方法を誤ると得点になりません。
3. 試験終了の合図とともに、解答用紙・問題用紙とも提出してください。

郁文館中学校

一、次の文を読みあとの問い合わせに答えなさい。

二十一世紀の地球環境問題を考えるときに、国際社会の中で、アメリカは環境問題について非常に身勝手だという意見とともに、日本も非常に問題であると他国からよく言われます。

日本は島国で、人口が密集し、経済活動が非常に活発です。アメリカは大国で経済活動も活発ですが、人口密度は日本よりはるかに低いのです。そして日本は環境に配慮する政策の導入が他の先進国に較べて明らかに遅れました。こうした理由もあって、日本の環境汚染の度合いは世界の中でも突出しています。

日本は地球環境問題でどういう立場にあるのでしょうか。ドイツと比較してみると、日本姿が見えてきます。日本もドイツも経済大国で、両国とも国民は非常に勤勉で学歴も高く、官僚国家という点でも体質は似ています。（1）環境問題では、①正反対の社会です。

日本のゴミ問題、産業廃棄物や一般廃棄物をどうしたらいいのか。日本にはいま、処理すべき産業廃棄物が四億トン、一般廃棄物は五〇〇〇万トンもあります。

日本の人口は一億二五〇〇万人、ドイツは八〇〇〇万人程度で、日本の三分の二です。そのドイツでは、ゴミが足りない状況です。焼却炉で燃やすゴミが足りず隣の州からもらつてくる、最悪の場合は買わなければならぬほどです。

ドイツに焼却炉がアリンリツしているわけではありません。焼却炉が多いのは、（2）日本ほうです。公的部門及び、そことタイアップした民間の焼却炉が五九〇〇基余ります。加えて、万単位の家庭用焼却炉もあります。

これらをすべて足すと、地球上の全焼却炉の実に七五%になります。それに対し、ドイツの焼却炉は全国でわずか五〇基です。日本に較べると非常に少ない数の焼却炉ですが、それで十分なのです。それだけ（3）が少ないので。

一方の日本は（A）にあまる廃棄物を抱えてその処理に追われています。一般廃棄物の捨て場は、全国あと数年しかもちません。産業廃棄物の場合も満杯に近い状況です。首都圏ではリサイクル、リユースの制度を否応なしに始めるところまで追い込まれています。この大量の廃棄物を私たちはいつまで出し続け、燃やし続け、埋め続けていこうとしているのでしょうか。今まで、事後対策に追われて後手後手の対策にイシュウシするのでしようか。こんなことを続けていけば日本の将来はないという統計が旧経済企画庁によつて出されました。

革命的に大きな政策転換をしなければ、日本の経済は決して回復しないというのです。環境問題への対処にかかるコストが大きな負荷となつて経済回復の足が引っ張られ、本来プラス成長に転ずるような状況でもマイナス成長に陥つてしまふというウヨソクです。景気が悪い、金融制度が遅れているという問題ではなく、（2）環境問題が経済発展の足を決定的に引っ張っていくと旧経済企画庁の報告は警告しました。それにしても、日本とドイツは、どうしてこんなに違うのでしょうか。

日本は放物線型の経済です。原材料をエユニユウして物を作り、消費者に届ける。消費者に届けたあとは物は使い捨てにされ、回収されない仕組みです。手元にある資源を製品という形で市場に放り出したら、そのまま投げたきりです。ボトルを投げたように放物線を描いて、目の届かないところに捨てられてしまうのが放物線型の経済構造です。一方、ドイツは物が（4）ではなく、見事にリサイクルされる循環型経済に転換しています。そのためにいろいろな法律を作りました。最も早かつたのが、一九七二年の産業廃棄物法です。九一年には包装材条例、九六年には循環経済法ができました。九四年には憲法改正を行つて憲法に環境条項を入れました。

ドイツ政府は早い段階から二十一世紀をオーテンボウし、人類が資源を浪費し続けることは許されないという観点から、どのように循環型経済に移行していくか考え、それなりの（A）を打つてきたということです。

問一 二重線部アヽオのカタカナを漢字に改めなさい。

問二 (A) にあてはまる言葉を体の一部を表す漢字一字で答えなさい。

問三 (1)・(2) にあてはまる言葉を次のアヽオの中から一つずつ選び記号で答えなさい。

ア ところが イ むしろ ウ もちろん エ つまり オ それゆえ

問四 (3)・(4) にあてはまる言葉をそれぞれ文中より探し、(3) は三字で、(4) は四字で抜き出して答えなさい。

問五 波線部「浪費」の言葉の意味を四字で答え、かつ対義語を漢字二字で答えなさい。

問六 傍線部①「正反対の社会」とあります。日本とドイツの違いを説明した次の文の(1)・(4)に指定された字数でそれぞれ文中より抜き出して答えなさい。

日本は(1)四字にされる(2)三字型經濟社会であり、
ドイツは(3)五字される(4)二字型經濟社会である。

問七 傍線部②「環境問題が経済発展の足を引っ張っていく」との警告がありますが、それはなぜですか。その理由を文中の言葉を用いて三十字以内で答えなさい。

問八 次の各文の内容を読み、本文の内容と合致しているものには○、合わないものには×をつけなさい。

ア ドイツは経済大国で、人口に対しての焼却炉の数が足りていない状況である。
イ ドイツは官僚国家で、国民は勤勉かつ学歴も高く、日本と似ているといえる。
ウ 日本は廃棄物が多く、新しい捨て場をどんどん増やしていくしかねばならない。
エ 日本は焼却炉が多く、一度にたくさんの中の廃棄物を燃やす工夫がなされている。
オ 日本では一九七二年に産業廃棄物法が制定され、ゴミ問題に取り組んでいる。
カ 日本における経済発展には、環境問題への対応が必要不可欠であるといえる。

二、次の文章を読んで後の間に答えなさい。

「おい、あがつて行くぞ」

蔵の二階の板の間が、岬にあてがわれた領域だった。夜半になつて、父が階下から声をかけた。アケイカイな足取りではじご段をのぼつてくる。①岬は間仕切りから顔をのぞかせて、父を待ちかまえた。

「夜食を持ってきてやつたんだよ。」

「……夜食」

「栗の渋川煮をこしらえたからさ。昨夜から火ばちへのせてじっくり煮たんだ。※相伴させて

やろうとおもつてね」

「……なんだ、ぼくはまた、荷物をまとめとけつていわれるのかと思った。」

「そりや、あいにくだつたな。もういやになつたのか」

「そういうわけぢやないけど。父さんが、こんな夜更けに声をかけてくることなんて、あす発つぞつてのよりほかにないだろう。なんだか足取りが身軽だつたし。原稿が順調に片づいたのかなつて」

「おまえの顔が見たくなつただけさ」

「なんで」

「息子なんてのはさ、そばにいればうるさくつて、姿が見えなきや気になるものなんだよ」

②岬を軽く小突きながら渋川煮のうつわを手渡し、父は階下へ向かう③急なはじご段を苦も

ない様子でおりてゆく。岬は二回の縁から声をかけた。

「栗なんて煮てて、仕事をほつたらかしてるんぢやないのかい、」

はしご段をおりかけていた父は、立ちどまつてふりむいた。真顔である。岬は、叱言をくう

のかと思つて、口をつぐんだ。

「坊主、さつきの話だけどな」

この父が息子を坊主と呼ぶときは、アンガイまじめな事柄のことが多い。岬は、聞き逃しの

ないよう④耳をそばだてた。

「おまえ、ひよつとして学級の全員にからかわれてるんぢやないか。ここみたいに※縁故や

血縁でつながつててる土地は、気心が知れてて団結しているぶん、きゅうくつなことも多いからな。

生徒のうつぶんもたまるはずだ。おまえみたいにのんきな転校生が来たとなりや、^Aうつてつけだらう

のぎの標的としては、^Aうつてつけだらう^Bけねん

父に指摘されるまでもなく、岬も同様の懸念を抱いていた。この件は誰かひとりのうそでは

なく、周辺に大勢の共犯者がいるのだ。

「ぼくも、そう思つてたところだよ。」

「そうか。それならよかつた。後で知つてしまげかえられても困るからな。じやまして悪かつ

た。^Bきびすを返した背中へ、岬は（1）の声をかけた。

「……父さん、もしかしてぼくのこと、気にかけてくれたの、」

すぐさま返事がなくて父が黙りこむのは、図星をついたときである。しかし、ふりむいた父は、

⑤そんなそぶりをすつかり隠している。

「たいして気にしちゃいないよ。おまえはからかわれたくらいで、へこむヤツぢやないと思つて

るぜ。ただ、エメイシンだの※口伝などにやすやすとまるめこまれるようぢや、人として情け

ない。ちょっとばかり親のオマネ^オことをしてみたくなつただけだ。」

（中略）

「栗をありがとう」

「いいんだよ。ちょうどまい具合に煮えたからさ」

執筆中は縦のものを横にするのもおしむ父である。気まぐれにしても、息子のことにかまけ

るなど、岬は思いもよらなかつた。

「仕事、はかどるといいね」

「おおきなお世話だよ。」

「おやすみ」

階段をおりてゆく父は、⑥まだ何かいい残したことがあるよう一度立ち止まつたが、ふり

かえらずに手で合図をして、そのまま階下へ行つた。

※ 相伴 酒食を提供し、もてなすこと。
縁故 口伝 人と人とのかかわり合い。
口伝えに教え、授けること。

問一 二重線部ア～オのカタカナを漢字に改めなさい。

問一 波線部A「うつてつけ」とB「きびすを返した」の意味を次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。
A「うつてつけ」 A 役不足 振り返った
B「きびすを返した」 A イイ 不適当 引き返した
エウイ 合格 返事をした
エ 最適 裏返しにした

問三 傍線部①「岬は間仕切りから顔をのぞかせて、父を待ちかまえた。」とありますが、岬はどういう思いで父を待ちかまえていたのでしょうか。岬の気持ちがわかる部分を二十字で抜き出しなさい。

問四 傍線部②「岬を軽く小突きながら」、③「急なはしご段を苦もない様子でおりてゆく」とあります、「ここ」での父親の気持ちを説明したものとして適切なものを次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。
ア 息子と会話ができる安心した気持ちと、また自分の気持ちを息子に伝えることができたことに対する照れくさい気持ち。
イ 息子と会話で機嫌を悪くし、悔しさのあまり、息子に対してひどい言葉を言い放つてしまつたことに後悔している気持ち。
ウ 息子と会話ができる安心したが、それに対する息子の反応（態度）にあまりよい気持ちを持ちを持つずにやり切れない気持ち。
エ 息子との会話があまり盛り上がり上がらず、落ち込み、その場から逃げ去るよう階段をおりしかねない位に恥ずかしい気持ち。

問五 傍線部④「耳をそばだてた」とあります、「なぜ岬は耳をそばだてたのでしょうか。その理由を三十字以内で答えなさい。

問六 （一）には「本当かどうかあやしく思う」という意味の四字熟語が入る。漢字で答えなさい。

問七 傍線部⑤「そんなそぶりをすつかり隠している」とありますが、「なぜ父親はそのような態度を取ったのですか。次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。
ア 心配してはいるものの、父親としての姿を素直に見せられないでいる。
イ 図星をつかれてしまい、息子に対して悔しい気持ちが出てきている。
ウ 怒っている姿を息子に決して見せることがないように、ふるまつていてる。
エ いいして心配はしていないが、父親としての姿を見せようとしている。

問八 傍線部⑥「ふりかえらずに手で合図をして、そのまま階下へ行つた」とありますが、「なぜ振り返つたら、また息子を怒つてしまふかもしれない」と思いながらも、もうこれ以上、息子を傷つけるわけにはいかないという気持ち。心残りではあるが、あまり気をかけすぎてもいけないし、気をかけすぎると、子どもを不安にさせてしまうかもしれないと思ふ気持ち。息子とのコミュニケーションをとり過ぎてしまい、もうこれ以上、息子を甘やかしてはいけまいと突き放していこうと決心した気持ち。仕事が中途半端なままでやり残しており、いつまでも息子と話をしていられまいと急いで仕事に戻ろうとして大変あせつていてる気持ち。

問九 本文中に描かれる父の、普段の様子がうかがえる表現を二十字以内で抜き出しなさい。